

**(公財) 中国四国酪農大学校 第2牧場、
県内初の農場HACCP認証を取得！**

平成29年1月16日に(公財)中国四国酪農大学校の第2牧場(ジャージー牛飼養)が県内で初めて農場HACCPの認証を取得しました。

農場HACCPは、食品製造現場のHACCPの農場版で、産現場に危害要因分析・必須管理点(HACCP)を取り入れより安全な畜産物の生産を目的としたものです。国が平成21年8月に認証基準を公表し、現在までに全国で99農場が認証を取得してします。

当大学校では、平成24年11月に関係機関の出席のもとキックオフ宣言をし、取組をスタートさせました。動薬業社、真庭家畜保健衛生所、畜産協会とともに、毎月1回職員会議を開催しながら農場HACCPの構築に取り組み、4年かけて、認証取得を果たしました。日々、学生教育、農場管理に追われる忙しい中ではありましたが、『牛の健康と生産物の安全性を確保するためよりよい農場を目指す』という目標に向かって職員が力を合わせた結果成し遂げました。

今後は、「農場HACCPの構築内容を維持するとともに検証しながら継続的な改善を図り、畜産物の安全性の確保はもとより、生産性の向上や生産コストの削減にも繋げ、岡山県一高品質で安全な生乳生産に努める。」さらには、「将来酪農の担い手となる学生にも、農場HACCPの教育を行って、普及に貢献する。」ことを目標としています。

